

平成25年度 山形県海面利用協議会 議事要点

- 1 開催日時、場所 平成26年2月17日(月) 午後1時30分～午後3時35分
いこいの村庄内 大ホール平安の間
- 2 出席者委員数 17名(委員19名中)
- 3 議 事

報告事項

- (1) 平成24年度海面利用協議会・地区協議会の議事要点及びその後の状況について

①ハタハタ関係

漁業者：・田川ではハタハタの着く場所がないとの報告だが、40年位前から由良の白山島周辺にハタハタが着いている。

②光力関係

漁業者：・資料の図面を見ただけでは、漁業者もこのとおり使っているのかと見えてしまう。漁業者は10kw以内と書いてほしい。

③曳釣り関係

漁業者：・今回もトローリングの件が提示されているが、毎年同じことで、いいかげん頭にきている。

事務局：・トローリングについては昨年度の経過を示したものであり、議題ではない。

- (2) 平成25年度海面利用(飽海・田川)地区協議会の議事要点

①マリジェット等

漁業者：・ゴムボートは黒いので船から見えにくく、これから数が増えてくると、事故の可能性もあるのではないかと危惧している。動力船とみなし、取締強化や海難事故防止を検討する必要がある。県知事許可にするとかの方法を考えてはどうか。ゴムボートの方でも竿を立てて旗を掲げるなどの工夫が必要。

事務局：・講習会などの安全対策が図られるよう、全国海区漁業調整委員会連合会を通じて国に対し要望していく動きがあり、本県も歩調を合わせていく。一方で、関係部局とも相談しながら、出来るところから対応していく。

②漂着ゴミ問題

漁業者：・各港には各地区の漁業者会があり、時化の度に溜まるゴミを集めているが、それを処分するお金が無く山になっている。

・夏場から秋場に釣り人が一杯来て、船を揚げる場所(由良漁港)への大便や小便がものすごい。こうした問題は市の港でも、県の港でも抱えていると思うので、もう一度調査してほしい。

鶴岡市、酒田市：漁業者や地元関係者が集めたゴミについては、市に連絡いただければ処分する。

事務局：・「海と渚の環境美化活動」では1件当たり陸上活動で20万円の助成金があり、利用を考えているようなら、県水産振興課へ問い合わせしてほしい。

協議事項

- (1) 海面利用調整について

①漁具被害を防ぐための相互理解

漁業者：・漁具は沈む縄と浮く縄があり、縄やさし網の方向性もある。プレジャー船がいるために漁船同士でまたいでしまう場合や、我々自身が自分の船で巻いてしまう場合もある。漁の妨げになるので、さし網の船や縄船の前には止まらないでほしい。風と潮の流れが逆の場合もあり、漁船が何の操業をしているか見極めた上で、遊漁をしてほしい。

遊漁者：・小型船舶安全協会の総会で、その都度注意しているが、それでもプロペラに引っ掛かる。全員集めての講習会は無理なので、地区の代表を集めて漁協から説明を受け、その資料を総会時に改めて配布したいと思うので、協力をお願いします。

・遠慮なく漁師の皆さんから強く出て頂いて、支障ある遊漁船には大声で「あっちに行け」と言ってください。

事務局：・漁業者側がプレジャー船から迷惑をこうむった場合、漁業者側から小型船舶安全協会に連絡あった場合は、小安協で指導していただけるという理解で、漁業者委員の方も、もし、迷惑を掛けるようなプレジャー船がいたら、小安協に指導をお願いするという連絡をすれば、良くなるのではないか。

②遊漁者による漁獲水揚げ

漁業者：・遊漁船の中で、大瀬などでタイを釣って、それを漁業協同組合の組合員として登録している人の名前で、1日に20万円も水揚げしているとのクレームがきている。調査してもらくなり、自主的に遊漁船のところで話し合ってみたり、漁業者同士で名前を貸すなということの徹底をしたりして解決するしかないと考えている。

遊漁者：・いくらかでも漁協に協力できればと、釣った物については漁協に納める窓口を作っていただきたいと漁協の組合長に申し上げている。九州の小さな漁協では、プレジャー船や遊漁船業者の協力がないと成り立たないとも言われている。山形でも、我々がとったものも提供できればと考えている。

(2) 協議会の運営について

遊漁者：・事前にこういう方向で、こういうことでいきますということを、漁協の方は漁協で、我々プレジャーボートはプレジャーボートで、あるいは遊漁船協同組合等は遊漁船で会議を開き、何を論じるべきなのかを決めた上で、この協議会を開催してはどうか。

座長：・委員の委嘱期限が5月なわけで、その時に改めて、こういう部分も協議したいのでという提案を県からいただきたい。

(3) その他(トローリング)

学識者：・20年ほど前より、遊漁者のトローリングについて、条件付きでの一部解禁を求めてきた。時代と法律も変わったことを念頭に、トローリングの条件付き解禁に向けて、検討をお願いします。

漁業者：・20年間議論してきたが、生活がかかっているのと、遊びと、お互いがはっきりしているので、そのへんが詰めていく大きな課題。

以上

平成25年度山形県海面利用協議会 出欠名簿 (H26. 2. 17)

氏 名		主 な 役 職	選任区分	出欠
山本 益生	やまもと ますお	鶴岡市 副市長	学識経験者	出席
富山 まさ江	とみやま まさえ	公益財団法人 日本釣振興会 山形県支部 事務局	学識経験者	出席
(代理 富山誠一)	とみやま せいいち	公益財団法人 日本釣振興会 山形県支部長		
佐藤 廣之	さとう ひろゆき	鼠ヶ関マリナー ハーバースター	学識経験者	欠席
加藤 政敏	かとう まさとし	釣具店経営	学識経験者	出席
伊原 光臣	いはら みつおみ	山形県漁業協同組合 理事	漁業者代表	出席
池田 幸一郎	いけだ こういちろう	山形県漁業協同組合 理事	漁業者代表	出席
渡部 伸二	わたなべ しんじ	山形県漁業協同組合 総代	漁業者代表	出席
佐藤 峯男	さとう みねお	山形県漁業協同組合 理事	漁業者代表	出席
本間 満	ほんま みつる	山形県漁業協同組合 理事	漁業者代表	出席
赤塚 信子	あかつか のぶこ	山形県漁協女性部 副部長	漁業者代表	出席
齋藤 賢作	さいとう けんさく	鶴岡小型船舶安全協会 会長	遊漁者代表	出席
宗 雄司	そう ゆうじ	山形県小型船舶安全協会 会長 酒田小型船舶安全協会 会長	遊漁者代表	出席
池田 栄	いけだ さかえ	遊佐小型船舶安全協会 会長	遊漁者代表	出席
朝比奈 昇	あさひな のぼる	遊漁船協同組合 理事長	遊漁者代表	出席
五十嵐 博	いがらし ひろし	山形県庄内遊漁船協会 副会長	遊漁者代表	出席
後藤 憲二	ごとう けんじ	山形県セイリング連盟 会長 酒田市ヨット連盟 会長	海レク代表	出席
相星 克文	あいほし よしふみ	山形県潜水協議会 会長	海レク代表	欠席
樫尾 浩司	かしお こうじ	東北運輸局山形運輸支局（酒田庁舎）次長	国の関係行政 機関	出席
内海 康德	うつみ やすのり	酒田海上保安部 警備救難課長	国の関係行政 機関	出席

委員 19名 (うち出席 17名)

臨席者

氏 名	役 職
加藤 栄	山形海区漁業調整委員会 会長
池田 亀五郎	山形海区漁業調整委員会 会長代理
鈴木 重作	山形海区漁業調整委員会 委員
大淵 敬三	山形県漁業協同組合総務部漁政対策室 係長
櫻井 静悟	酒田市農林水産部農林水産課 課長補佐兼水産林務係長
小笠原 健	鶴岡市農林水産部農山漁村振興課 課長
加賀山 祐	山形県農林水産部水産課 漁業調整主査
茂木 省三	山形県水産試験場 場長
高澤 俊秀	山形海区漁業調整委員会事務局 海区漁業調整主査

臨席者 9名

事務局

氏 名	役 職
井口 雅陽	山形県庄内総合支庁水産振興課 課長
阿部 幸	山形県庄内総合支庁水産振興課 課長補佐（漁業調整担当）
蛸井 昌二	山形県庄内総合支庁水産振興課 漁業調整主査
菅原 雅直	山形県庄内総合支庁水産振興課 月峯船長
齋藤 勝三	山形県庄内総合支庁水産振興課 機関長
佐藤 孝浩	山形県庄内総合支庁水産振興課 主任専門機関士
板垣 光太	山形県庄内総合支庁水産振興課 機関士

事務局 7名

出席計 33名